

# 退職後、普通徴収（本人納付）とする場合の記入例

給与支払報告  
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

都城市長 殿 令和〇年10月4日 提出		所在地 〒885-0073 都城市姫城町6街区21 フリガナ ミヤコノジョウ カイシャ 氏名又は名称 <b>都城会社</b> 個人番号 又は法人番号	特別徴収義務者 指定番号 <b>54287088</b> 宛名番号 担連絡者先 所属 総務課 氏名 高崎 百代 電話 0986-97-8180 内線 ( 263 )	年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度				
給与所得者	フリガナ	ミヤコノジョウ マサコ	(ア) 特別徴収税額 (年税額) 19,000 円	(イ) 徴収済額 6月分から9月まで 7,000円	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ) 10月分から5月まで 12,000円	異動年月日 〇年 1月 9日	異動の事由 1. 退職 2. 退職 3. 退職 4. 退職 5. 退職 6. 退職 7. 退職	異動後の未徴収税額の徴収方法 3. 普通徴収 (本人納付)
	氏名	都城 政子						
	生年月日	昭和 55年 1月 1日						
	個人番号	*2**6**9012						
受給者番号	002011	1月1日現在の住所	都城市未来町1-1	異動後の住所	同上			

都城市から送付した税額通知書の「指定番号」を記入してください。

「3」と記入してください。  
\*普通徴収・・・退職者等が納税通知書により直接納付すること。

「1」と記入してください。

1. 特別徴収継続の場合 \*転勤・転職先の事業所と税額等の連絡がとれている場合のみ記載ください。

特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名又は名称	新規 法人番号 担当者連絡先 所属 氏名 電話 内線 ( )	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分 (翌月10日納入期限分) から徴収し、納入するよう連絡済みです。 受給者番号 納入書の要否 (新規の場合のみ記載) <input type="checkbox"/> 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要
--	--	--

(イ) の欄  
異動した人の特別徴収税額を6月分から何月分まで、いくら徴収されたかを記入してください。

2. 一括徴収の場合 \*1月1日から4月30日までの間に、退職等により給与の支払を受けなくなった場合には、本人から一括徴収の申出がなくとも原則、一括徴収してください。

理由 1. 異動が令和〇年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和〇年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日 徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 月 日 円	左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分 (翌月10日納入期限分) で納入します。
--	-------------------------------------	---

(ウ) の欄  
(ア) の欄の金額から (イ) の欄の金額を差し引いた金額を記入してください。

3. 普通徴収の場合

理由 1. 異動が令和〇年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和〇年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 (ウ) 以下であるため 3. 死亡による退職であるため	※都城市記入欄 処理日 担当者 確認者
--	------------------------------

該当する理由の番号を記入してください。